

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年12月1日

事業所名 読書・ろう重複センターすぎな

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	50%	50%	・1人用テントを設置して一人になりたいときの空間を確保	・スペースが限られているので、できる限りの工夫で対応していくことが課題。	
	2 職員の配置数は適切である	50%	50%			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	50%	50%		・事業所前の段差や傾斜に関しては、車椅子の方などは入りづらい。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%		・毎朝朝礼で前日の子どもたちの様子等を職員間で共有、振り返りをすると共に、LINE Worksの掲示版昨日で全スタッフにも共有している。 ・改善点をすぐに考え、業務効率化をはかっています。		
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%			・いただいたご意見は真摯に受け止めて、より良い支援に繋げていけるようにしたい。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%		・HPで公表		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		100%		・第三者評価を受ける予定なし	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%		・自立支援協議会に積極的に参加している。		
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%				
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	50%	50%	・ツールは使っていないが、一人ひとりの様子に合わせて視覚支援を取り入れている。		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%		・長期休みの活動は企画会議を行い、企画担当もみんなで割り振っている。		
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%				
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%		・公共交通機関の利用やお金の支払い等必要な社会経験が積み重ねられるように工夫している。		
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	50%	50%	・子どもたちの様子に合わせて選んだものを作るようにしている。 ・集団活動を押し付けないように一人ひとりに合わせた活動を提案するようにしている。		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%		・LINE Worksの掲示版を使って全スタッフが情報共有できるようにしている。		
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	50%	50%	・次の日の朝に前日の様子も合わせて振り返りを行なっている。		
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の総評・改善につなげている	100%				
	18 定期的にミーティングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	100%				
	19 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%				
関係機関や保護者との連携	20 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%				
	21 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を促している	100%			・現在は医療ケア児なし。	
	22 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	100%		・必要に応じて情報を提供することがある。		
	23 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%				
	24 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	100%			・公園で地域の子と遊ぶこともある。	
	25 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%			子ども部会がないため、あれば積極的に参加	
	26 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%				
	27 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		100%			
保護者への説明責任等	28 運営規程、支援の内容、利用者負担等について書明説明を行っている	100%				
	29 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行う	100%				
	30 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		100%			
	31 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%		・電話対応や直接お会いして対応している。		
	32 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%				
	33 個人情報に十分注意している	100%				
	34 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%		・必要に応じて視覚支援を取り入れてご本人の手がかりになるよう日々努力している。		
	35 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	100%		・福祉フェスタへの参加		
	非常時等の対応	36 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%			
		37 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%			
38 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		100%				
39 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している			100%		・次年度から個別支援計画に記載、保護者へ丁寧な説明をした上で同意をもらえるようにする。	
40 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			100%		・ご家族の指示にもとづいて対応	
41 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		100%				
42						